

# 未来のための5日間



篠田いちご園

南中の女子が3人で働いていました。「暑いけど楽しい。いちごが好きだからここに来た。」と話してくれた藤原さん。事業所の篠田重一さんは「トライやるの経験を今後の人生に役立ててほしい。社会の厳しさを体験する機会になれば…」と語られました。(吉田)



西脇消防署

自分の持っている力を最大限につかって壁を登る西中の西元大登くん(左)。西脇消防署では、12mほどの高さに張ってあるロープを渡ったり垂直な壁を登ったりと自分の限界にトライしていました。(足立)

左から、園児に歯磨きを教えている西中の戸田つぐみさんと井上亮くん。園児たちにお姉ちゃん、お兄ちゃんどう?と聞くと、「優しいよや」「このお兄ちゃん大好き」などと元気に答えてくれました。それを聞いて中学生も嬉しそうなお姉ちゃん、園長の神戸みよ子先生は「中学生には、アドバイスやヒントを与えてくれるだけ自分たちで考えて動いてもらっています。この5日間で楽しさだけでなく社会の厳しさも学んでもらえたら嬉しいです。」と言っておられました。(足立)



西脇幼稚園



旭商会

東中の男子2人が働いていました。「車が好きだからここに来た。」と話してくれました。事業所の石田真人さんは「接客なので笑顔とあいさつを学んでほしい。」と語られました。(吉田)



原自動車

左から西中の西本晴紀さんと平山創一くん。2人は市役所に書類を提出しにきていました。あいさつの声も大きく元気よく活動していました。(足立)



バンセイコウ

針が手に刺さっても頑張る東中の矢野陽平くん。東中の高瀬聡太くんは「大変だけどやりがいがある」と話してくれました。(足立)



西脇市図書館

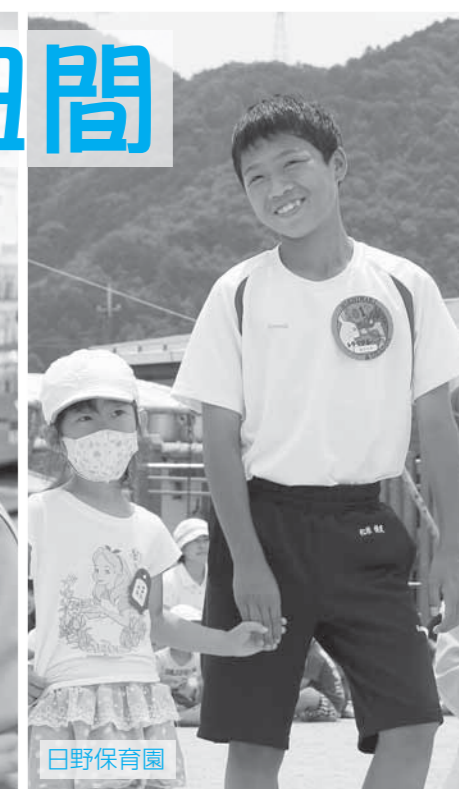
本が好きで選んだと言う黒田庄中の衣笠剛くん。取材に行ったのが活動初日だったので、みんな緊張していました。積極的に「何かほかにはありませんか?」などと声をかけていました。(足立)



播州織工業協同組合



ヤマダデンキ西脇店



日野保育園



キリン堂黒田庄店

今年、中学2年生431人が126ヵ所の事業所で5日間お世話になりました。トライやるを体験する中学生は、まったく新しい環境や人間関係の中で、失敗や成功を自分自身で体験します。トライやる・ウィークは、職場体験を通じて社会のルールや厳しさ、そして働くことの楽しさを学ぼうという取り組みです。この5日間で自分の喜びだけでなく、地域の方々の役に立ったり元気を分けられていたら嬉しいです。ちなみに、「トライやる」の名称は、「挑戦する：トライ」と「学校・家庭・地域：トライアングル」という意味も込められています。

5人の中学生が挑戦していました。インタビュアーにに応じてくれたのは井上君と太田君で「楽しいけど立ちっぱなしが辛い。」と話してくれました。事業所の近藤文博さんは「仕事を分かってもらえてよかった。モチベーションが高くて早い。」と嬉しそうに語られました。(吉田)



西脇ロイヤルホテル

地域のみなさん  
ありがとうございました



このトライやる・ウィーク特集ページは、次の中学2年生2人が取材・編集を担当しました。(左から)  
・吉田 光(西脇南中)  
・足立夏帆(西脇中)



ベルデ・ヴェール

黒中の女子4人が働いていました。写真は事業所の人に教わりながらクッキーの生地を作っているところ。4人は「ピザを作ったりして楽しい。」と話してくれました。事業所の松本和樹さんは「事業所でも教える立場としていい勉強になる。かげの仕事やいろいろなことがあって店が成り立っていることを分かってほしい。」と話されました。(吉田)